

特定非営利活動法人ソーシャルハウスさかい 定款

第1章 総則

(名称)

- 第1条 この法人は、特定非営利活動法人ソーシャルハウスさかい、と称する。
- 2 この法人の名称を、NPO法人ソーシャルハウスさかい、と略記することができる。
- 3 この法人の名称に、必要があれば、精神障害者のノーマライゼーションをすすめる市民の会、と付記することができる。

(事務所)

- 第2条 この法人は、事務所を大阪府堺市北区中百舌鳥町2丁308に置く。

(目的)

- 第3条 この法人は、「精神障害者」が、地域で自らが望む生活をおくる、というノーマライゼーションの理念を、身近な地域社会において実現するための事業を行うことにより、差別のない、個々人が違いを認めあい、お互いに支えあう豊かな地域社会をつくりだすことを目的とする。

(活動の種類)

- 第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、特定非営利活動促進法第2条別表に記載された活動のうち、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。
- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (4) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業の種類)

- 第5条 この法人は、特定非営利活動に係る次の事業を行う。
- (1) 特定非営利活動に係る事業
- ① 精神保健福祉に関する啓発事業
- ② 「精神障害者」の地域福祉に関する事業

る事業

- ③ 「精神障害者」の地域ネットワーク作りに関する事業
- ④ 「精神障害者」が住みやすいまちづくりに関する事業
- ⑤ 介護保険法に関わる事業
- ⑤の1 介護保険法に基づく居宅介護支援事業
- ⑤の2 介護保険法に基づく訪問介護の居宅サービス事業
- ⑤の3 介護保険法に基づく福祉用具貸与の居宅サービス事業
- ⑤の4 福祉用具の販売及び健康機器の貸与及び販売事業
- ⑤の5 住宅改修事業
- ⑤の6 介護予防サービス事業の介護予防訪問介護事業
- ⑥ 障害者自立支援法に関わる事業
- ⑥の1 障害福祉サービス(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、療養介護、生活介護、児童デイサービス、短期入所、重度障害者等包括支援、共同生活介護、施設入所支援、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、共同生活援助)の各事業
- ⑥の2 相談支援事業
- ⑥の3 移動支援事業
- ⑥の4 地域活動支援センターの運営
- ⑥の5 福祉ホームの経営
その他の日常生活及び社会生活支援に関わる全ての事業
- ⑦ 道路運送法における福祉有償運送事業
- ⑧ 前各号に付帯する一切の業務

第2章 会員

(種別)

- 第6条 この法人の会員は、次の2種類とし、正会員をもって特定非営利活動促進法上の社員とする。
- (1) 正会員 この法人の目的に賛同し

て入会した個人又は団体
 (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体

(入会)

第7条 正会員又は賛助会員として入会しようとするものは、入会申込書を理事長に提出し、理事長の承認を得なければならない。理事長は、正会員の申込みについては、正当な理由がない限り入会を認めるものとするが、入会を認めない場合は、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(会費)

第8条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を理事長に提出し、任意に退会することができる。

2 会員が次の各号のいずれかに該当する場合には、退会したものとみなす。

- (1) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき
- (2) 会費を継続して3年以上納入しないとき
- (3) 除名されたとき

(除名)

第10条 会員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、総会において、正会員総数の3分の2以上の議決により、これを除名することができる。ただし、その会員に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この定款に違反したとき
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(抛出金品の不返還)

第11条 会員が納入した会費その他の抛出金品は、その理由を問わず、これを返還しない。

第3章 役員

(種別)

第12条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 5～15人
- (2) 監事 1～2人

2 理事のうち、1人を理事長、1～2人を副

理事長とする。

3 理事及び監事は、会員の中から、総会において選任する。

4 理事長、副理事長は、理事の互選により定める。

5 役員の内には、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族が役員総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

6 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

(職務)

第13条 理事長は、この法人を代表し、その業務を統括する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき、又は理事長が欠けたときには、理事長があらかじめ指名した順序によりその職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

4 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (2) この法人の財産の状況を監査すること。
- (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
- (4) 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
- (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

(任期)

第14条 役員任期は、2年とする。但し再任を妨げない。

2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 前2項の規定にかかわらず、任期の末日において後任の役員が選出されていない時は、その任期を、任期の末日後、最初の総会が終結するまで伸長する。

(欠員補充)

第15条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第16条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会の議決により、これを解任することができる。

但し、理事会において、その役員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 職務の執行に堪えられないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第17条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

第4章 総会

(種別)

第18条 この法人の総会は、通常総会と臨時総会とする。

(構成)

第19条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第20条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 事業計画及び収支予算並びにその変更
- (5) 事業報告及び収支決算
- (6) 役員を選任又は解任、職務及び報酬
- (7) 会費の額
- (8) 長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (9) 事務局の組織及び運営
- (10) その他運営に関する重要事項

(開催)

第21条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認めたとき。
- (2) 正会員の5分の1以上から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。
- (3) 監事が第13条第4項第4号の規定により招集したとき。

(招集)

第22条 総会は、理事長が招集する。但し、前条第2項第3号の規定による場合は、監事が招集する。

- 2 理事長は、前条第2項第2号の規定による請求があった場合は、その日から30日以内に臨時総会を開かなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第23条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第24条 総会は、正会員の3分の1の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第25条 総会における議決事項は、第22条3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 総会の議決事項は、この定款で定めるもののほかは、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。

(書面表決等)

第26条 やむを得ない理由のため、総会に出席できない正会員は、あらかじめ書面をもって表決し、又は議長を代理人として表決を委任することができる。

- 2 前項の場合における前2条の規定の適用については、その正会員は総会に出席したものとみなす。
- 3 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議決に加わることができない。

(議事録)

第27条 総会の議事については、次に掲げる事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員の現在数
- (3) 出席した正会員の数（書面表決者及び表決委任者については、その旨を明記すること。）
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及びその結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、その会議において出席した正会員の中から選任された議事録署名人2名以上が、議長とともに署名押印しなければならない。

第5章 理事会

(構成)

第28条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第29条 理事会は、この定款で別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 総会に付議するべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(開催)

第30条 理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めるとき。
- (2) 理事総数の2分の1以上の理事から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき

(招集)

第31条 理事会は理事長が招集する。

- 2 理事長は前条第2号の規定による請求があったときは、その日から20日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第32条 理事会の議長は、理事長が当たる。

(議決等)

第33条 この法人の業務は、理事の過半数をもって決する。

第6章 資産、会計及び事業計画

(資産)

第34条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財産目録に記載された財産
- (2) 会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業にともなう収入
- (6) その他の収入

(資産の管理)

第35条 資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(経費の支弁)

第36条 この法人の経費は、資産をもって支弁する。

(事業計画及び予算)

第37条 この法人の事業計画及び予算は、理事長が作成し、総会の承認を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。

(予備費の設定及び使用)

第38条 前条に規定する予算には、予算超過又は予算外の支出に充てるため、予備費を設けることができる。

- 2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第39条 第37条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

- 2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第40条 理事長は、毎事業年度終了後3か月以内に、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支計算書を作成し、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(長期借入金)

第41条 この法人が資金の借入れをしようとするときは、その事業年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、総会の議決を経なければならない。

(事業年度)

第42条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 事務局

(設置)

第43条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。
2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。
3 事務局の職員は、理事会の議決により任免する。

(書類及び帳簿の備置き)

第44条 主たる事務所には、特定非営利活動促進法第28条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかなければならない。
(1) 会員名簿及び会員の異動に関する書類
(2) 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第45条 この定款の変更は、総会において正会員総数の3分の1以上が出席し、その出席者の過半数の議決を経なければならない。

(解散)

第46条 この法人は、次に掲げる事由によって解散する。
(1) 総会の決議
(2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
(3) 正会員の欠亡
(4) 合併
(5) 破産
(6) 所轄庁による設立の認証の取り消し
2 総会の決議により解散する場合は、総会に出席した正会員数の4分の3以上の議決を経なければならない。

(残余財産の処分)

第47条 この法人が解散（合併又は破産による解散を除く。）したときに残余する財産は、次のものに帰属させるものとする。

(名称)

社会福祉法人 堺市社会福祉協議会
(主たる事務所の所在地)
大阪府堺市堺区南瓦町2番1号
堺市総合福祉会館

第9章 雑則

(公告)

第48条 この法人の公告は官報により行う。

(委任)

第49条 この定款の施行について必要な事項は、定款で定めるほか、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

附則

- この定款は、この法人の成立の日から施行する。
- この法人の設立時の会費は、第8条の規定にかかわらず、次の各号に掲げるものとする。
 - 正会員
個人 年会費(1口) 1,000円
団体 年会費(1口) 5,000円
 - 賛助会員
個人 年会費(1口) 2,000円
団体 年会費(1口) 5,000円
- この法人の設立当初の役員は、第12条第3項及び第4項の規定にかかわらず、次に掲げるとおりとし、その任期は、第14条第1項の規定にかかわらず、平成15年6月30日までとする。
 - 理事長
竹田 綾子
 - 副理事長
中本 明子
 - 理事
中司 正人
中西 孝一
梅田 正信
佐藤 格
杉谷 由美
山田 弘行
塚田 めぐみ

中 田 哲 也

3月31日までとする。

(4) 監事

森 下 善 仁

附則

この定款は、平成14年6月9日改正施行する。

4 この法人の設立初年度の事業計画及び予算は、第37条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。

附則

この定款は17年2月21日(大阪府知事が認証した日)から施行する。

5 この法人の設立初年度の事業年度は、第42条の規定にかかわらず、成立の日から平成14年

附則

この定款は18年10月4日(大阪府知事が認証した日)から施行する。

附則

この定款は22年11月29日(堺市長が認証した日)から施行する。